02
流域DX

日本には多くの河川があります。その豊かな水資源は人々の生活を支え、農業や業業、工業等に欠かせないインフラとなっています。一方で、昨今は気候変動の影響により激甚化する水害や渇水の頻発化、水インフラ老朽化に起因する水供給の停止など、様々な課題が顕在化しています。

流域DXは、ダムの治水・発電の多目的利用等による脱炭素投資の呼び込みや多様なステークホルダーの連携を推進し、流域全体で治水と利水双方の能力を高めることで、新たな地域価値を創出する構想です。

日本らしい豊かな
自然インフラ × デジタル技術で
他者や自然と共に生きる喜びを感じる

矢作川・豊川 CNPJ での提案モデル

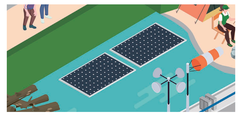
愛知県の矢作川流域、豊川流域をモデルケースとし、流域を中心とした多様なステークホルダーとともに、資源をシェアし、新たな価値観や考え方を生み出すことで地域課題の解決に資する「流域における自律協生社会」を目指しています。

ダム運用の高度化による治水・発電能力の最大化

中部電力
東芝インフラシステムズ
日立製作所

流木や間伐材を活用したバイオマス発電

阪和興業
静岡ガス



ダム水面での太陽光発電

東亞合成

発電ダムにおける蓄電池技術の活用

横河ソリューションサービス

高精度気象予測技術

JSOL

農業用水での小水力発電

東邦ガス
静岡ガス

流域全体での水循環モニタリング、水利用最適化

全体

河川での小水力発電

明電舎

Copyright 2023 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Resarved